

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 三戸町

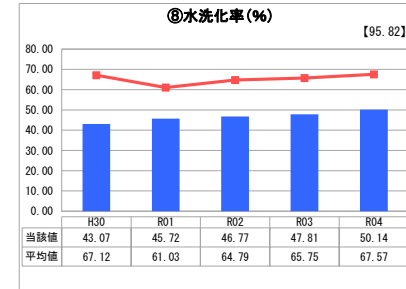
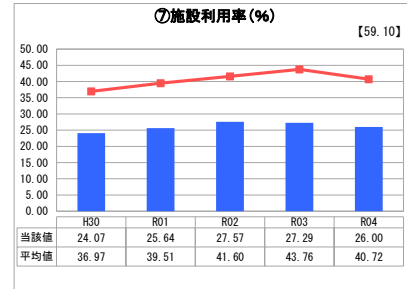
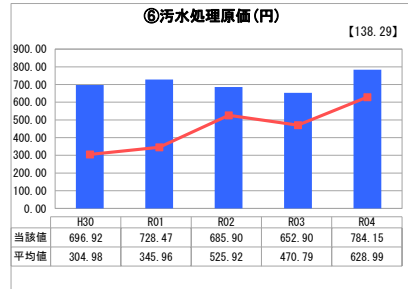
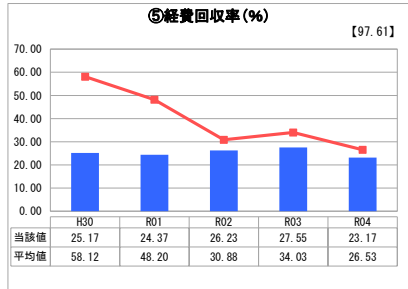
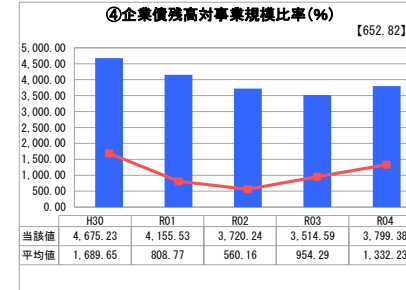
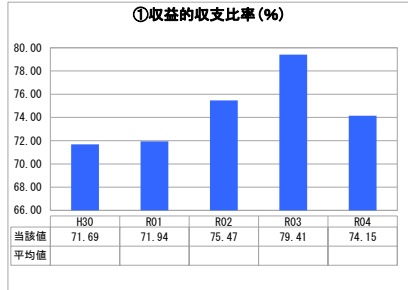
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	26.91	98.76	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,172	151.79	60.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,453	1.24	1,978.23

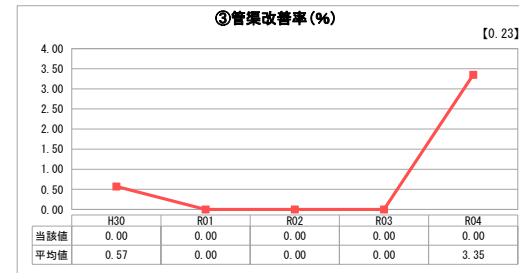
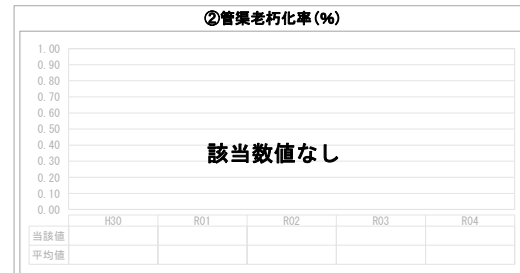
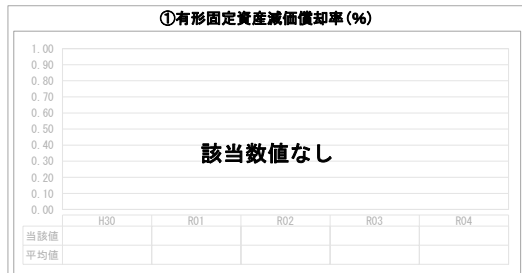
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の汚水処理施設は平成22年に供用を開始しており、建設時に借入れした企業債があることから、企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して高い数値となっています。現在計画的に返済をしており、数値は減少傾向となっていますが、令和4年度は公営企業会計の適用に要する経費を起債したことから、若干の増加となりました。

供用開始時は汚水処理系列を3系列整備する予定でしたが、想定よりも接続率が低く、人口減少も影響し、水洗化率及び施設利用率は類似団体より低い数値となっています。

水洗化率が低いことに伴い、経費回収率も低い数値となっており、経費の3割も回収できていません。

また、有収水量が少ないため、汚水処理原価が高額となっていることから、接続率が増加するような取組や、使用料の改定、経費の削減等を検討し、収益的収支比率の改善に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成22年の供用開始に向け、管渠等の整備は平成17年から行ってきましたが、未だ耐用年数を迎えていないことと、約5年に1回の頻度で実施している主要な管渠の点検結果で大きな異常が確認されていないことから、管渠の更新は行っていません。

可能な限り耐用年数を伸ばせるよう、主要な管渠の点検は今後も継続して行い、異常が確認された際は更新を実施します。

全体総括

今後も人口減少は進行し、経営はさらに厳しくなることが想定されるため、持続可能で健全な運営ができるよう、収入増加や経費削減に努めるとともに、公営企業会計を適用し、見える化を図ります。

（公営企業会計適用予定年度：令和6年度）

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。